



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正
(超党派虹の会)

**環境
保健福祉**

白糸自然公園全体（未利用地を含む）の整備計画をどう進めていくのか

問 今年度と来年度で整備計画策定をどう進めていくのか。

部長 新たな公園アクセス道路計画、排水計画、駐車場・トイレの増設計画、新たに整備するレクリエーション施設等の素案と配置案などを策定し、来年度に市民ワークショップを開いて地域住民をはじめ市民の声を計画に反映していく。屋外大型ステージについては、今年度中に設計、イメージ図策定に取り組み、市内・県内外の文化団体に周知して誘致活動を進めていく。

問 芝川にかかるつり橋構想について市の考え方は。

部長 市として取り組む考えはない。

市長 民間事業者のいい構想と認識。行政とし

て一生懸命協力していければありがたい。

こどもまん中社会の実現に向けて

問 市のこども基本計画の策定時に実施したアンケートで、「こどもまん中社会に向かっていると思うか」の質問に、15歳から39歳の市民はどのように答えているか。

部長 「向かっていない」「どちらかという toward 向かっていない」の回答が合わせて57.2%だった。

問 小中高生の意見を市の政策などにどう反映していくのか。

部長 こども施策事業の実施にあたって、対象となるこども・若者の意見を可能な限り取り入れるため、より効果的な手法等を研究していく。

問 こどもの権利条例制定について、どう考えるか。

教育長 現時点で市として取り組む考えはない。



さの としお
佐野 寿夫
(公明会)

**保健福祉
都市整備**

認知症による行方不明者となる方の現状と対応策について

問 認知症による行方不明者の推移について。

部長 令和4年度15人、令和5年度19人、令和6年度26人である。

問 民間と連携した見守り体制について。

部長 市では、地域見守りあんしん事業を実施し、令和7年6月17日時点で、民間事業者等31団体と協定を締結している。

問 認知症バリアフリー宣言富士宮版を策定してはどうか。

市長 富士宮市として重点的にこうしたことについては取り組む段取りをしていきたい。

▶ 認知症バリアフリー宣言ロゴマーク

認知症バリアフリー社会の実現に向けた機運を醸成することを目的としている



北部地域における大規模な整地作業の現状について

問 整地作業において違反に該当する基準は。

部長 盛土規制法及び市条例、いずれも盛土高30cm未満のものは、面積に関係なく許可不要となっている。これらの許可基準に該当し、なおかつ許可を得ずに施工された場合、あるいは許可を取得していても基準を逸脱し施工している場合は違反となる。

問 整地、盛土等の違反箇所数は。

部長 市内において不適切盛土として把握している件数は28件である。

問 監視カメラの活用状況について。

部長 本年度は、上井出1か所、北山1か所、根原1か所で、延べおよそ180日間を設置し、現在も継続して監視を行っている。

市長 本年度24か所の違反箇所を現場確認した。このことについては早く撤去してもらおうとか何らかの対応をしていただくように市長として厳しく対応していく。